



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

3/18 (火)

テーマ：『いすみ鉄道への倫理(みち)』

出席49社58名

(美浜41、他会13、非会員4)

講師：千葉県倫理法人会 事務長 吉田 平 氏



Taira Yoshida

「千葉市に路面電車を走らせたい」。夢を1つ1つ達成していく吉田氏は皆の心の太陽☆

2月27日 いすみ鉄道社長 内定

吉田氏は現在48歳、倫理歴は4年。2つのバス会社〔平和交通・あすか交通(旧団地交通)〕とタクシー会社〔西岬観光〕の社長だ。美浜倫理を相談役として支えながら、県事務長として主に積極広報に取り組み、週の大半を倫理に注力する。

今回、昨年12月に公募された「いすみ鉄道」の新社長に内定(2月27日)したことにより、正式な決定は3月26日の臨時株主総会と取締役会を待つが、4月1日から同社社長業に専念する予定だ。

いすみ応募・内定に至った経緯と吉田氏が抱く夢を、倫理の体験報告としてお話してくれた。

新社長応募への経緯。「2年前の講話での志の宣言が出発点」。

美浜の会長に就任してから半年後の平成18年3月30日、吉田氏は倫理では初めての講話の中で、自らの志の具現化を宣言した。今までバラバラの経営であったグループ3社の上にホールディングカンパニーを設立し、共通する業務の統合・効率化を図り、「運輸業から旅客サービス業への脱皮」を掲げた。

だが実際には、チャレンジ精神は旺盛ながらも、倫理などで会社の実務を行う時間はドンドン取れなくなり、宣言とのギャップに苦しんだ2年間だった。そうなった原因の1つには、素直に喜んで受ける「ハイ」の実践がある。

寒竹氏から「自分の事業以外のことを一生懸命やれば、世界が広がるよ」と

勧められて、昨年の統一地方選挙では田沼氏の後援会長になり、2ヶ月間没頭した。

また、美浜の会長2年目で、3年目も続投を考えていた時に、突如寒竹氏が県会長となり、県事務長としてのサポートを頼まれた。これも「はい!」と受け、「広報が最大の戦略」の方針で、広報誌のリニューアルや、ホームページやブログの充実、経済シンポジウムの開催等、現在も一生懸命務めている。

この間、妻の手術もあり、「妻を大事にする機会を与えてもらった」。会社員時代に妻が入院した時は、一度もお見舞いに行っていけられなかった。だから今回は毎日2回お見舞いに通った。手術は成功した。そして昨年12月のいすみ社長公募だ。

全てが出入幽頭。公のために働けば、自分の事業に返ってくる

今年1月9日、いすみ鉄道の社長に応募した。2つの大きな思いがあった。1つは、寒竹氏に「いすみ鉄道へのチャレンジは、倫理の実践そして最大の倫理の広報になる」と背中を押されたこと。もう1つは、自身の10年来の夢「千葉市に路面電車(LRT)を走らせたい」の実現に、鉄道会社再建の経験・実績が必要と考えたからだ。「今はまだ無理でも、楽天や世界のSONYのように、平和交通だって夢を叶えられるはずだ」。

多くの方が応援してくれたが、何が内定の決め手だったのかはわからない。ただ1つ言えるのは、「倫理入会がなければ、応募することすらなかった」ということだ。また、いすみ内定のおかげで、3社それぞれに社長を置き、自分はホールディングの代表となるべく、3月1日付けで、3社とも株式会社化できた。「2年前に宣言しながら、でもできなかったことが、そうせざるを得なくなり、実現した。全てが出入幽頭、ひとつながり。公のために働けば、事業にも返ってくると感じた」。

墓参での誓い いすみ鉄道でやることは2つ

今年1月2日、父方・母方の墓参で、「他社と戦うのではなく、自分は挨拶を広めていきます」と誓った。これができたのも、倫理のおかげだ。月1度は墓参している。いすみ鉄道でやることは2つ。乗務員さんと一緒に挨拶する会社を創ること。そして、いすみ鉄道のルーツを学び、創始者に自身の思いを誓うこと。この2つを、4月1日から実践していく。吉田氏は、「倫理の本物の体験をしたい」と抱負を語る。

次回 第870回MS! 3/25 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ：『お役をいただく幸せ』

講師：青森県倫理法人会 会長 中村 久美子 氏

できるできるやればできる!
明るく楽しくなければ倫理じゃない!
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく